

市街地活性化と都市基盤整備は



河野 好宣 議員

【質問】 都市部や大企業を中心に景気は完全に回復したとされているが、岩手県の有効求人倍率は全国平均を大きく下回り0.75倍、当地域においては更に下回り0.43倍である。この地域間格差をどうとらえるか。また今国会で成立した「まちづくり3法」の改

正によって中心市街地の活性化は可能か。

【市長】 経済構造は質問者の見解と同じくとらえており地方経済は疲弊している。「3法」の改正は本市の方針と合致しており好ましい。100地区程度を選択することで自治体間競争が激化するが、果敢にチャレンジしていく。

【質問】 下一日市地区は今年度で完成とのことであるが駅前顔として昭和60年代に計画着工された駅前整備事業は途中でストップ、当初は下一日市地区と一緒に計画された上一日市・仲町は商業の振興、中心市街地の活性化にも係わると考えるが市長の覚悟はいかに。また着工以来5年目になる稲荷下第二地区は、なかなか進まない。平成17年度末でやっと18.5%である。新手法や事業の前倒しも視野に入れながら積極的に進めるべきと考えるがどうか。

【市長】 駅前是一部、整備が未完成であり中心市街地活性化プロジェクトの中で全体像を検討しつつ進める。また上一日市、仲町についても高齢社会の中、街中居住地区や中心市街地全体のあるべき姿を検討しながら取り組む。稲荷下第二地区は本年度において全体計画の20.8%を見込んでいる。厳しい財政事情の中だが進捗を図るため、新制度の導入や財源振り替えなどで財源確保に努め事業を推進していく。

【その他の質問項目】

「ことばの教室」の今後について



中心市街地の活性化が望まれる

無医地区になった上郷町に国保診療所を



菊池 民彌 議員

【質問】 旧市村の所得格差の是正が市政課題だ。どんな施策で宮守地区の所得向上を図るのか。

【市長】 農業分野では、やる気のある農業支援をし、新市一体の所得向上に向け行動する。二次産業は、第6次産業の観点から産業振興を図る。宮守の貴重な資源である「わさびバイオ技術」を産学官民連携で共同研究を進める。起業促進、新分野進出等の経営革新事業を宮守へも展開する。

【質問】 上郷診療所が閉院され、医師不在となった。今の診療所を国保診療所にするために条例改正し週1~2日の診療が欲しいが。

【市長】 条例改正し、国保診療所化の提言は医師確保の観点、他の診療所との兼ね合い、交通体系など全体バランスを鑑み検討が必要だ。利用件数などを協議し、市内開業医と連携し進めることで検討している。

【質問】 汚水処理計画によると農業集落排水事業の今後の予定地区は小友、土淵、青笹、上郷であるが、次期整備地区の選定手順、方法、着手時期は。

【市長】 総合計画策定中である。汚水処理計画の見直しを進めている。効率的・効果的に整備が進められるように導入地区、実施時期を検討していく。

【質問】 基本構想について、①目玉事業は。②10億円の財源不足は事業に支障は。③農業所得向上策は。④工業団地整備は。⑤少子化対策は。

【市長】 ①快適居住環境等の整備。②財源不足が生じるが主要三基金の活用と歳出の抑制と歳入確保に努める。③情報の先取が重要、有利販売の取り組みが必要。④造成工事等の許認可に時間をかけないことが必要。⑤少子化対策総合プラン策定プロジェクト・チームを設置した。

【市長】 ①快適居住環境等の整備。②財源不足が生じるが主要三基金の活用と歳出の抑制と歳入確保に努める。③情報の先取が重要、有利販売の取り組みが必要。④造成工事等の許認可に時間をかけないことが必要。⑤少子化対策総合プラン策定プロジェクト・チームを設置した。



福祉の里に併設している中央診療所